田代時報
第26号
発行所　田代村公民館
電話　2番の乙
発行責任者　湯ノ谷米吉
編集責任者　小川兵一
印刷所　南日本新聞鹿屋支社
鹿屋市曽田町1664
電話88・98・126番

現代社會の不幸は何でしよう

『立派な青年を育てる爲に』

今ときの青年はどうもだらしがなくていかん、理窟ばかり言つて実行力がない、石にかじりついても事を成し遂げようとする気はくに乏しい。依存性がつよく自主性がない、利己的で奉仕精神に欠けて居る等々、大人が青年に関して口を開けば、あゝだこうだと欠点を取上げて批判はするが、青年の長所を見出す爲の努力はしないようである。

青年は青年で大人の頭は古いと考え、二つと目には封建だ封建だと言つて、昔の良かつた点、大人今日の長所を見出そうとしない所に、今日の社会の不幸があるのではないでしようか。

今此処で私達は現実を静かに反省し、善後策を講じなければ、将来に禍根を殘すのではないか、言葉をかえて言えば将来由々しい問題が起きるのではないかと思うのであります。

青年はあゝだこうだと欠点を取り上げて批判して居る大人と、大人は封建だ古くさいと言つて、大人の言うことには心から耳を傾けようとしない青年と、果してどちらが正しく、どちらが誤つて居るのでしようか。

たしかに、大人の言つて居ることは青年の悪い面であり、青年の言つて居る事は大人の悪い面でありまして、お互いに批判し合つて居ることは間違ではないようであります。

其れでは大人も青年も其のように悪い面だけで、ちつとも良い面はないのかと言えば、けつしてそうではありません。

戦前のものゝ考え方の中にも、今日といえども若い世代が大いに学ばなければならない尊いものがあり、新らしい民主々義の中にも大人達が今後大いに学ばなければならない美点がたくさんあります。

今日迄は大人も青年も、こうした相手方の美点を学ぼうとせず、お互いに欠点を憎み合つて居た所に、若い世代と大人との和合の失われた原因があり、其処に社会の乱れた大半の原因があつたのではないでしようか。

私達はお互いに神でも仏でもない人間であります。相手方に長所はちつとも認めてもらえず、欠点だけを指摘されて憎まれると、又相手を憎み返してやりたくなるのは寧当然ではないでしようか。

相手に理解されれば、こちらも相手を理解せざるを得なくなる。相手が自分を理解して居ないと思つて居る間は、自分が相手を理解して居ない証拠だと言う謙虚な気持がお互いに湧いて来ない限り、今日の社会不安はなくならないと思います。

終戦から今日迄、過去十年の久しい間、私達はお互いに大人は青年の欠点を、青年は大人の欠点を指摘し、批判し合つて来ましたので、どのように感の鈍い人でも自分達の欠点は充分認識して居るのでありますから、之以上欠点をどうだこうだと言うことは、無益なばかりでなく、寧ろ社会不安を増すばかりであるから、今後はお互いにもう少し大きな気持になつて、相手の立場の理解に努めることが、かえつて相手方に自分の立場を理解させることになるのだと思います。

大人は若い世代の美点を見出しこれを助長することに努め、青年は大人の長所を発見して之に学ぶならば、私達の住む社会は非常に和やかな将来に明るい大きな希望のもてる、住み易い社会が生れるのであり、其の事がとりもなおさず、古いものと新らしいものとの欠点をなくして長所を伸ばす事にもなるのだと思います。

大木の下には草木が育たないように、お互いに長所がぐん〳〵伸びて大きくなれば、短所は自然に衰えて行くのは自然の理であります。

今後は大人も若い世代も、共に相手方の短所を見つめることなく、お互いに長所を見出す工夫と努力をして、其の長所を学ぶと共に、相手方の長所が伸びやすいように、理解と協力をすることが明日の社会を明るく住みよくすることだと思います。

『国のいしずえは青年の教育である。

青年教育の大事なことは此の言葉の示す通りであります。

青年教育を進める爲には、大人達が青年を理解しなければなりません。大人に青年を理解させる爲には、先ず青年が大人を理解する必要があります。

このようにして、悪いことも良いことも循環して、結局は我が身に返つて来るのであると言うことを認識して、今後は自分達の住む社会を、住み心地の良い立派な社会にする爲に、大人は青年の欠点に気を病む事だけをやめて、新教育によつてぐん〳〵成長しつゝある青年の立場と性格を理解し、近代青年の持つ長所の発見につとめ之が育成補導に真剣な努力を傾け青年は大人の封建だけをとがめず尊い経験者としての長所を学ぼうではありませんか。そうすることが、青年自身成長することであり明日の社会を住み易い社会にすることだと信じます。

（公民館主事　小川兵一）

納税準備貯蓄

こんな年こそ努力して

納税準備貯蓄の現在高は別表の通りで、目標額の二〇％五です。これから秋の収穫に取りかゝる時ですが、今年は既に何回も台風が襲来して、農作物は非常な減収であろうと心配にたえません。

貯蓄はこんな年があるからこそ、準備として蓄積するわけですが、私達はこんな災害の試練に屈せず苦しい中から少しでも多くの貯蓄を積みたてるようにいたしましよう。

（新名文治）

納税準備貯蓄現在高調

昭和29年9月20日現在

部落名	目標額	貯蓄現在高	合歩
下	197.200	19.800	10.0
馬場	145.800	28.900	19.8
東ノ原	93.400	14.000	15.0
長谷	146.600	43.500	29.0
西中郡	256.300	18.100	7.1
東中郡	247.500	46.100	18.6
橋ノ口	376.600	76.100	20.2
中村	140.700	23.000	16.3
中山下	216.300	43.900	20.3
岩崎	244.300	54.300	22.2
麦木	279.200	81.600	29.2
折小野	87.900	25.200	28.1
山ノ口	141.000	18.300	13.0
西大原	178.500	44.500	24.9
東大原	113.000	20.000	17.9
中尾	91.300	8.600	9.4
新田	131.700	33.300	25.3
内ノ牧	78.960	7.300	9.3
官行山	39.050	11.200	28.7
鶴野	63.300	33.000	52.1
久木野	54.200	10.300	19.0
盤山	32.170	7.300	22.7
富田	8.190	2.000	24.4
平石	310.000	51.800	16.7
柴立	418.930	43.500	10.4
上柴立	221.100	21.900	9.9
上原	296.700	36.800	12.4
原沢	92.700	19.300	20.8
池野	261.400	48.600	18.6
潤戸口	95.700	36.000	37.6
諸ケ倉	243.400	160.500	65.9
鳥淵	102.100	33.700	33.0
早潤	210.000	46.900	22.3
郷ノ原	217.100	24.000	11.1
辺志切	183.200	38.200	20.9
鶴園	414.300	85.500	20.6
計	6.428.800	1.316.000	20.5

父

田代中学校二年A組　竹之内富代子

戦争、この言葉を聞くたびに、私は色々な事が思い出されてなりません。おもに父の事が思い出されます。今から考えて見ますと、あの当時私達一家は、満州の奉天の町に住んで居ました。父は会社に務めていたが、戦争がはげしくなり、召集令をうけて戦争に行かなければならなかつた。行く時父は"戦争に行つて来るから元気でね"といわれた事を、五つだつた私はかすかに覚えている。

それからと言うものは、母一人手で何も知らない私達兄妹、九つの兄をかしらに四人を苦労して育てて下さつた。

飛行機の爆音が聞えて来ると、サイレンが鳴り、鐘が鳴り響く、母は私の手を引いて、弟をおんぶして、防空壕にかくれた事もあつた。その頃の母の苦労は、なみたいていではなかつたろうと、今さら思います。

終戦の時は、母は今までの苦労で大変体が弱つていました。その時、内地へ帰国と言う、うれしい知らせがあつた。部落別に帰るのだつた。私達の部落より別な部落におばさん達がいた。私は、母、兄、弟を残して私と姉は、おばさんと一しよに先に帰つた。

満州から帰つて、父の家があつて助かつた。おじいさんおばあさんが元気で迎えに来ておられた。おじいさん達の世話で、ますます元気になつて行く、母が帰つて来たら喜んでくれるだろうと思つていました。すると母は、内地に残いてから、この世を去つててまつたと、兄ばかり帰つて来た。母、弟も死んで帰つて来た。その時の歎きは忘れられません。

母が死んでからは、父だけを便りに戦争から帰つて来るのを待つていたが、二年生の一学期五月五日の日、父が死んだと言う知らせを聞いたときは、こんなにびつくりして歎いたことはありませんでした。其れから父母のいない私達は淋しい日を過しておりましたがさいわいにしておじいさん、おばあさんがいるので幸福です。父母はなく誰も便りない人達もいるのだ。

私達兄妹三人は、おじいさん、おばあさんのおかげで、日に増とんどん成長し、又何もかもわかつて来る。そして私の父母も草葉の蔭でどんなに喜んでいるだろう。私達が今こんなに大きくなつたのも、おじいさん、おばあさんのおかげだと思うと、どんなに感謝しようもありません。私達、こんなに大きくなつたのに、父母が生きていて下さつたら、どんなに喜ばれる事だろうと思います。

農薬の販賣について

最近の不順な天候によりまして病虫害の発生を見て居り、皆様も農薬をいろ〳〵御使いになるのでございますが、この農薬の中には毒物や劇薬が相当ありまして、取扱の不注意や使用方法の誤りによりまして、人畜に被害を見る恐れがあります爲、その販賣に当りましては『毒物、劇物取締法』と云う法律の適用をうけ、買つた人の住所、氏名、数量、品名、生年月日を記入して印鑑を貰うことになつて居ります。之に違犯した場合は処罰されることになりますので今後、農薬で毒物、劇物といわれるものを買われる時は、必ず印鑑を持つて来て下さい。印鑑なしでは販賣出来ません。又満十八才にならない人には販賣出来ませんので、遠い所の方は不便でしようが兒童の便では販賣は致しません。

容器は飲食物の入つて居たものは、使用しないことになつています。少量を購入される時は農協で適当な容れ物に入れてあげます。使用、保管については、よく技術員の指導を守り、一時に沢山は買わない様にして下さい。

現在田代農協で賣つて居ります毒物劇物は

ウスブルン、セレサン、メルクロン、ブラスト、硫酸ニコチン、砒酸鉛、砒酸石灰、硫酸銅、デリス剤、二四D、B・H・C、となつて居ります。　農協販賣係

経…済…課…便…り

経済課長

◉茶摘競技会を顧みて

本年度村主催の茶摘競技会はかねて一般にお知らせ致しましたとおり九月四日大原の川前園に於て行われました。朝来の雨で各部落の参加を気づかいましたが、流石に茶の村田代と言われる如く選手だけでも八十二名に達し其他多数の応援者の参会を得て盛大に有意義に挙行出来ました事を厚くお礼申上げます。

本年は単に選手の競技だけに止めず一般に村民の方が展く茶摘の要領を覚えていただくことを主な目的としそのために縣特産課の有馬技師の講演並びに実習がありました。又競技はA班（今迄に村の競技に於て入賞した人を当てる）とB班（前記以外の人を当てる）に分ち素人の入賞率をよくしました。そして部落賞は手摘二名鋏摘二名計四名の合計点を以て成績を決めました。

以上の様なことで成績は次の通りでありました。

部落賞

一等賞　池野

二等賞　富田、潤戸口

三等賞　東大原、西大原、中村

四等賞　表木、長谷、鶴園、山ノ口、馬場、山下

次に左の部落は本競技会に参加なく甚だ遺憾でありました。来年からは村内全部落が参加して下さることを切に望みます。

柴立、下、鶴園、折小野、盤山、内ノ牧、官行山、新田、鶴戸野、久木野、上原、早潤、辺志切、郷原、上柴立、鳥淵

◉優勝旗の図案募集の結果について

本紙八月号で一般に広告しました如く本年度から振興大会の競技項目の優勝小組合には優勝旗を授与することにしてその図案を募集することにしたのでありますが、応募者は役場吏員から二名だけでありまして誠に淋しいことでありました。

◉夏期道路手入審査を顧みて

本年度夏期の各部落受持地区の道路手入審査は八月二十三日から三日間に亘り役場経済課長、関係技術員並びに農会土木委員からなる審査員によつて審査を行いました。その結果は後で発表致しますが、概要を申上げますと、今回は従来に比して非常に熱心に手入をして下さつた中尾、長谷等の部落が出て来た反面東大原、久木野、平石等は全然手入を行わず無関心であつた事は誠に遺憾に堪えない次第でした。

◉和牛保留補助金の支給制度について

畜産の振興特に質の改善については従来から村当局において最も留意し、苦しい予算の中から補助制度を講じて居るのでありますが本年度から之が支給の方法を若干変更することに致しました。即ち従来は村内に生産された優秀な仔牛を村内の人が保留された場合に補助金を出して居たのでありますが、本年度からは飼育番牛の中から本登録に合格したものには参千円、予備登録合格には弐千円、補助登録合格には千円位の補助を出したい意向であります。最もこれは未だ最終的結論ではありませんので念のため申添えて置きます。

◉縣の総合指導班の受講に就いて

かねて申上げて置きました如く縣の指導班が九月十五日から三日間本村の指導を行いました結果は後で申述べたいと思いますが折角の講習に参加しなかつた小組合長は左の部落で残念な事でした。

下、東ノ原、西中郡、東中郡、折小野、東大原、中尾、新田、内ノ牧、官行山、富田、柴立、上原、原沢、池野、潤戸口、辺志切、花潤官行

八月の納税成績

一〇〇％が三一―未納六

犬税と荷車税の納期は八月末であつたが、その納入成績は別表の通り一〇〇％完納小組合三一、未納が六小組合となりました。

十月は固定資産税第二期分の納税月になつております。

本年は台風が何回も來まして、非常な打撃を受けましたが、お互にこの試練に屈せず、こんな時にこそ益々協力奮発して困難を克服しようではありませんか。

（財務課長）

荷車、犬税納税成績表

一九・八・三一日納入分

小組合名	納税歩合
下馬場	一〇〇
東ノ原	一〇〇
長谷	一〇〇
西中郡	一〇〇
東中郡	一〇〇
橋ノ口	一〇〇
中村	一〇〇
山下	一〇〇
岩崎	一〇〇
表木	一〇〇
折小野	一〇〇
山ノ口	一〇〇
西大原	一〇〇
東大原	一〇〇
中尾	一〇〇
新田	一〇〇
鶴戸野	一〇〇
経山	一〇〇
富田	一〇〇
上柴立	一〇〇
上原	一〇〇
池野	一〇〇
潤戸口	一〇〇
猪鹿倉	一〇〇
鳥淵	一〇〇
早潤	一〇〇
郷ノ原	一〇〇
辺志切	一〇〇
鶴園	一〇〇
久木野	九〇、九
平石	八一、七
柴立	六八、一
官行山	五〇、〇
内ノ牧	一五、三
平均	九四、六

新刊図書購入

公民館図書部では、今回次の様な新刊書を購入致しましたので、お知らせ致します。

購入図書名（　）内は著者名

⊙総　記

日本十進分類法　日本目録規則　新聞の読み方に関する十二章（笠信太郎他）十代の読書（熊谷孝）

⊙哲学・宗教

人生読本（日本放送協会）尊徳に学ぶ（島影盟）よみがえる東洋（鈴木大拙）だれにもわかるハンニヤ心経（上野陽一）論語孟子の解釈（浅尾芳之助）母の生きかた（古谷綱武）暮しの美しさ（古谷綱武）毛沢東選集（尾崎庄太郎訳）私のヒューマニズム（柳田謙十郎）私の人生読本（松永安左衛門）聖書（神田盾夫訳）父母の在り方（岩淵至道）哲学者の笑い（山本光雄）女性のための人生論（堀秀彦）暮しのなかの人生論（古谷綱武）人間の生き方（福原麟太郎）私の哲学と人生観（高橋里美）愛と死の思索（亀井勝一郎）愛による思索（串田孫一）青春と革命（野間宏）人生の智慧（武者小路実篤）日本の思想家（奈良本辰也）女性恋愛教養（堀秀彦）

⊙歴史・地誌

池田成彬傳（西谷弥兵衛著）小林一三傳（三宅晴輝）源義経（数江教一）（吉田松陰（下程勇吉）天皇と叛乱将校（橋本徹馬）世界現代史（黄元起）昭和人物秘録（矢次一夫）日本という国（デュアメル）日本人の歴史（藤島幹）天皇家の歴史・続天皇家の歴史（ねずまさし）観光鹿児島（鹿児島縣観光連盟）日本旅行（浅井治平）物語日本歴史（肥後和男）エヴエレスト征服（近藤等訳）写真でみる日本史（朝日新聞社）

⊙社会科学

インフレとデフレ（木村福八郎）中国の国民生活（斎藤秋男）日本民謡詩選集（町田嘉章）女工哀史（細井和喜蔵）イギリス政治思想（堀豊訳）帝国主義論にかんする戦後の新資料（堀江邑一訳）ファシズムと軍事国家（小比木眞三郎他）帝国主義の治落（ユベール・デシャン）日本の社会（福武直）アジアの復活（ネール）日本女性史（井上清）人間の名において（中野好夫）現代アメリカの課題（岸本英夫）現代の診断（高橋徹訳）子供はうつたえる（五月書房）逆立ちの世の中（花森安治）青年学級振興法　社会教育の方法　図解世界の教育（以上三册文部省編）女性に関する十二章（伊藤整）女子の職業と就職案内（講談社）

⊙自然科学

チャート式解析1　2（橋本純次）植物の世界（本田正次）昆虫界のふしぎ（中西悟堂）米と栄養（稲垣長典）緑の食事法（遠藤仁郎他）ネズミの知恵（岡田要）太陽の誕生と死（ガモフ）

⊙工学・家事

世界の建築（藤島玄治郎）住みよい間取（松下清夫）農家のすまい　家の設計図集　農家の台所　すぐ役立つ家庭便利帖（蚕業経済新聞社）家庭料理　染色と洗濯　赤ちゃんの病気　花嫁文庫全十二巻　洋裁　料理　美容　手芸　生花　家事　編物　和裁　手紙　作法　医学（以上主婦之友社）ママさんなあぜ（本井信義）農家の衣生活（農山漁村文化協会）

⊙蚕　業

これからの自給肥料（塩島角次郎）害虫と農薬の新知識（添谷昌次郎）誰にもわかる肥料の知識（浪江慶）新しい農民像（内山政照）農村教育の砂漠（浪江慶）日本農村のめざめ（栗林農夫）役牛の使役と飼養（吉田武紀）酪農相談室（三田雅彦）四季の園芸（南村秀雄）これからの農家養鶏（米野与七郎他）ひよこの育て方（市川勇治）花づくり（浅山英一）これで防げる野菜の病気（滝元清透）農機具総典（中村忠次郎）ソ連の農業（村石利夫）飼料自給増産の研究（谷本保夫）図解日本の農業（栗畑精一）獣医のくるまで（本井次郎）稲作（高橋浩之他）醗酵肥料の造り方と用い方（守山清三）漬物の漬け方（笠間治三郎）新しい村つくり（中野清見）村の次三男（松丸志隆三）農産加工読本（小原哲二郎）これからの酪農（加唐勝三他）家庭養鶏の手引（市川勇治）

⊙芸術・娯樂

日本茶道史（桑田忠親）音樂は如何に聴くべきか（塚谷晃弘）農村演劇（村山知義）現代映画講座（和田矩衛）茶の湯独習書　生花と茶の湯　未生流生花独習書（以上三册主婦之友社）日本人の娯樂（南博）

⊙語　学

和英辞典　英和辞典（研究社）模範手紙百科大辞典（斎藤溪石他）

⊙文　学

坪田譲治全集　小泉信三集　宮本百合子集　林芙美子集　大仏次郎集　尾崎士郎集　大岡昇平・三島由紀夫集　堀辰雄集　鶴亀先生（源氏鶏太）火の鳥（伊藤整）童謡（川端康成）冬眠先生慌てる（尾崎一雄）忍術結婚（三橋一夫）美人自叙傳（佐々木邦）人生は七〇％（佐々木邦）愚なる人々（石坂洋次郎）慾の果て（丹羽文雄）愛するためには（舟橋聖一）悪の愉しさ（石川達三）潮騒（三島由紀夫）カロリーヌ（セシル・サン・ローラン）滑稽文学論（麻生磯次）小説作法（丹羽文雄）夕鶴け富士（大仏次郎）雪之饭変化（三上於菟吉）丹下左膳（林不忘）蛇姫様（川口松太郎）鳴門秘帖（吉川英治）親鸞（吉川英治）竹取物語評解（三谷栄一）枕草子評釈（増淵恒吉）謡曲物語（能勢朝次）増鏡（久松潜一）芭蕉文集（松尾靖秋）源氏物語（山岸徳平他）新古今和歌集新釈（本位田重美）現代俳句上・下（山本健吉）李太白（田中克己）現代詩の鑑賞（金子光晴）世界を走る（笠間正明訳）ゲーテとベートーベン（ロマン・ロラン）若き人々へ（ヘルマン・ヘッセ）第三の平和（マーガレーテ・ブーバー・ノイマン）エミーよ（金子和代）愛は死をこえて（ローゼン・ヴァルジャン物語（ユーゴー）小公子（バーネット）にごりえ（バーグの手紙）蜜島（原爆歌集）

乳用山羊の飼い方（其の二）

八月の時報に飼養管理に関することを詳細に説明を加えましたが、今回は種付、分娩、其の他、分娩山羊の飼養管理等について説明を加えます。

一、繁　殖

生後三―四ケ月で発情がありますが、今年の十月から十一月、十二月に種付します。

二、発情の徴候

和牛の様に盛んに鳴き、尾を盛んにふります。尚陰部が紅くはれ粘液が陰部より漏出します。其の他、他の山羊に乗りかゝります。

三、種付の適期

排卵は発情の後半に行われるから大体一五―二〇時間後が良い朝発情した場合は夕方、夕方発情した場合は翌朝に種付する方が良く、発情が長時間に亘る場合は朝夕二回種付すれば良い。

四、姙娠期間

一四八日―一五四日

平均　一五二日

五、分　娩

徴候として腰が落ち、腹が垂下り、乳房が膨脹して挙動不安、食慾が減退する。殆んど安産である。難産等の場合は助産するか直に連絡する。

六、初　乳

分娩後約五日間の泌乳する乳汁を初乳という。初乳の特徴として濃厚で黄色を帯び粘調性で蛋白質及灰分に富み、特殊な臭気があり苦味を有する。

初乳の効能

イ、発育に必要な総べての養分を含み消化利用に最も適している。

ロ、下剤の作用があり、胃腸内の老疲物の排せつを促進するしたがつて人間は飲用してはいけない。

ハ、ビタミンを濃厚に含有する

七、哺　乳

生後三週から四週迄出來得る限り乳を飲ませること。普通二ケ月迄は体重の二割から二割五分迄は乳を与えること。

一日の増体重が二〇〇瓦以上にならねば良い発育とはいえない

哺乳期間は種畜用になるものは三ケ月、普通の牝では少くとも二ケ月は哺乳すべきである。つまり体重が四〇以上になれば離乳しても良い。

哺乳回数

分娩後一週間以内は一日六回二―三週間の間は一日五回四―七週間の間は一日四回八―一〇週間の間は一日三回

これ以降は次第に減じて行き離乳する。余り永い間哺乳させると発育は良いが乳は不経済になるのみでなく第一胃の発達を悪くして余り結果は良くない。

八、飼料の給與

生後三週間になると飼料を食べ反芻をするようになる。この時良質の青草又は穀等を自由に食べさせる。但し飼料を食べる様になつたからと思つて余り早くから与えると反芻せずにかえつて消化不良を起すから注意を要します。生後五〇―八〇日は自由に食べさせ、二―三ケ月で離乳して短期正しく与える。此の期間の濃厚飼料は一日二合以上は与えない。

九、運　動

山羊の育成上最も重要なことは飼料と運動であります。自由な運動は、清良な空気、日射によつて食慾が高められ、発育を促進するのみでなく、体質の強健体の確造の整備、抵抗力の強化繁殖機能の増進をもたらします

イ、生後一週間目頃より短時間宛自由に運動させる。

ロ、次第に時間を延長して親仔共運動させる。放牧場があれば尚良い。

ハ、運動不可能の場合は一日朝夕二回は一時間位牢き運動を行うことが大切であります。

以上

（七枝技師）

……※……

司書補講習を終えて

そよとも風のない暑い日や、台風で森もさせない様な雨風の日も毎日通つた司書補講習も終り、いかにして講習で習つた事をいかそうかと今新刊書の整理に大わらわでございます。

去る七月十二日より九月四日まで約五十日間、鹿児島市で開かれた司書補講習に受講させて頂きましたが、講義の内容は、図書館統計、図書館施設、図書館史、図書館学概論、図書の目録と分類、図書整理法、製本と修理、視聴覚資料、図書解題、閲覧と貸出し、社会教育等図書館に関する基本的理論や、実際的活動、技術等について、遅くは京都より講師を迎えて勉強いたしました。

講習会の雰囲気は、終始なごやかな雰囲気で、さしてつらい思いもせず受講出來た事を有難く思つて居るものでございます。

「今迄の図書館は『図書の收集・整理・保存』が目的だつたが、戦後の図書館は此の外に『利用』が一番大事な事である。これからの図書館は、図書館資料を最大限に利用する事、即利用者に奉仕する事である」と各講師がおつしやつた言葉でしたが、此の事が一番の根本問題だと思つて居ります。

又図書館資料は図書だけでなく、近代図書館は視聴覚資料等、文化財は全部図書館に集め、図書館を通じて文化運動を行う事であるとまことに図書館の使命は、社会教育の一環として重大な役割をなすもので、範囲が広うございます。

田代の公民館図書部はまだまだ理想の図書館の姿には遠なるものがあると思いますが、小さな村で限られた予算では、あれもこれもと言うわけには行きませんが、年々充実して來て居り、村民の皆様の要望に応えられるようにと、一生懸命でございます。

現在ある此の図書館の資料、即図書を最大限に使つて、少しづゝでも理想に近づいて行きたいと思つて居ります。

完全なる図書館奉仕の爲の準備、整理等、講習で得た知識をいかして、私の力で出來るだけの事はいたしたいと思つて居りますので、村民の皆様も、公民館図書部を大いに御利用下さいまして、御協力下さる様お願いいたします。

又これは厚かましいお願いでございますが、御手持の図書を御寄贈下さいまして、図書部充実に御協力下さいましたら幸と存じます。

公民館の図書は、誰のものでもなく貴方のものです。公民館の書棚にあづけてある、自分の本だと思つて、役場、農協に用事に出たついでに、又買物に出たついでに何時でも気軽においでなつて下さいい。又遠方の方に対しては、貸出文庫が出來て居りますから、此れを御利用下されば便利かと思います。部落公民館や青年團、婦人会等團体名義で貸出します。一文庫につき十册で一ケ月間貸出しとなつて居ります。

別欄に新刊書紹介が出て居りますが御利下さい。尚読みたい希望の本がございましたら、遠慮なく公民館まで申込んで下さい。

（公民館　野田マサ）

立派な妻になり得る女性

一、真心と親切を持つて居る人
二、働きもので、こせつかない人
三、快活で従順で上品な人
四、裁縫と料理の上手な人
五、鑑を見る時、心の曇りを払う人
六、品物の仕末の上手な人
七、学問を鼻の先にぶら下げぬ人
八、御自想上手で買物上手な人
九、虚栄心のない初々しい人
十、常識豊かで辛抱づよい人

立派な夫になり得る男性

一、地位や收入よりも確かりした人物
二、良い友人をもつて居る人
三、理智に富んだ感情の円満な人
四、男子らしい思いやりの深い人
五、才人よりも意志の強い人
六、ゆたかで明るい人
七、応揚で細心な人
八、常に修養につとめる人
九、腕ぢゝよりも人柄の床しい人
十、酒に飲まれず、女に惚れぬ人

田代時報原稿募集

一、田代時報編集部では厳く村民皆様の御投稿をお待ちして居ります。

二、内容は何んでもかまいません

三、字数は出來るだけ十五字詰一四〇行以内にして下さい。

四、締切　毎月二十日以内に公民館にお届け下さい（二十日すぎでも差支がなければ翌月号に登載致します。

五、原稿が余る場合は編集委員会で厳選して登載順を決めます。

六、原稿はお返しいたしません。

寄贈図書紹介

此の度、公民館図書部の充実を図るために、次の方々が左記のような図書を御寄贈下さいましたので、紙上をもつて御紹介申し上げまして、厚志に対して深甚の謝意を表します。

寄贈者名、寄贈図書名、（　）内は著者名

松添順門
ついに太陽をとらえた（中村誠太郎）

隈崎盛行
明治天皇御集謹解（佐々木信綱）
人生は四十から（ピットキン）
東京夜曲（田村泰次郎）
原爆後末利
栄えゆく道（野間清治）
西郷南州先生玉詩全集一（竹崎春泰）

☆　★　☆　★　☆　★

「ふたば会」作品集

文芸

俳句

田代小五年　野田　卓申
庭先にへび出てぼくは石なげる

田代小六年　堀之内明雄
友だちと水泳にゆくたのしいな

田代中一年　原　敬直
川かにをたいまつもつておいかける

田代中二年　福留ふみ子
ゆりの花ゆらりゆらりと風にゆれ

田代中二年　堀之内町子
朝つゆにぬれて子牛の草をきる

田代中二年　丸田　次男
お盆すぎてたのしみのない田舎の子

短歌

田代小四年　原　てるよ
くらいばん一人でとおるさびしいなでも目をつぶりよおればいいさ

田代小五年　勘場　勝代
夕ごはんたいてわたしが待つてるときぎをおうて母さんかえつた

田代小五年　山下　貞洋
せみとりにかくれてゆけばひろちやんがあとから泣いて走つてくるよ

田代小六年　小牧　望子
私の買つてもらつた洋服が短かくなつて妹がきる

田代小二年　平山　和憲
よくないてぎをゆうせみは男だろだまつているのは女せみだろ

田代小三年　平山久美子
くんちやんがあそんでいたらさいれんがおうんとなつてごはんにかえつた